



## 奥玉地区の各自治会、農家組合、愛林会の通常総会が開催 R8.2/1~22

奥玉地区の各自治会、農家組合、愛林会の通常総会が2月中旬に開催されましたが、当協議会からは来賓として会長等が分担してそれぞれ出席し祝辞を述べました。また、各団体との連携や集落支援の観点からお祝いのメッセージを送り課題解決への連携等と呼びかけました。

この内、宝築自治会の総会・市政を聞く会・新年交賀会は、2月15日に30名ほどが出席しホテル三嶋の湯で開かれました。

「市政を聞く会」では、千厩支所の菅原由幸支所長が講師となり「一関市の『防災・福祉・防犯』の取り組みについて」と題し約1時間講話。参加者は、人口減少の推移や高齢化の進展に伴う各種施策の推進や行政福祉サービスの内容に耳を傾けていました。



宝築自治会の総会と「市政を聞く会」  
(ホテル三嶋の湯、R8.2.15)

## 勝部修氏の集めた石のコレクションを「特別展示」公開 1/23~2/25

前一関市長で当協議会名誉顧問の勝部修さんの自慢の石のコレクションが、この度大東図書館の企画展で広く紹介されました。大東図書館と石と賢治のミュージアムが連携して開催した「鉱物と石たち～きらめき展」の一環で、1月末から2月25日まで展示公開されました。展示された石は、県職員や市長在職時代に趣味として収集した「母子像」「ムクノ叫び」「みぞ田楽」などと名付けられた15点ほどの珍しい石ばかり。勝部さんにとって「石集め」は楽しみ以上のものとのこと。

勝部流「石集めの極意」は、「①最初から目的をはっきりさせて探すこと」と「②自分の勘」だそうです。

形や色や模様などを特定して探すと自然と目に入ってくるもの。

この辺におもしろい石がありそうと思うと、石から声をかけ、語りかけてくるそうです。



「みぞ田楽」(田沢湖畔で)



「母子像」(砂鉄川で)



「ムクノ叫び」



勝部 修さん

## 盆栽歴50年の愛好家 千葉喜代一さんの『真柏(しんぱく)』 第100回「国風盆栽展」で連続入選 (東京都美術館 2/14~18)

日本最古の歴史を有し、最もレベルと格調の高い公募の盆栽展として知られる「国風盆栽展」で、千葉喜代一さん(奥玉深芦沢)の作品「真柏(しんぱく)」が連続入選を果たしました。

審査の厳しさは日本一と言われる同盆栽展での入選は、愛好家にとって最高の栄誉とされ、いわば「盆栽界のオリンピック」でのメダル獲得に等しく、千葉さんは今回で13回目の入選と言います。

第100回の同展(後期)は、2月14日から18日までの4日間、東京・上野の東京都美術館で開かれ、出展数は前期と後期合わせ300点以上。天皇、皇后両陛下と愛子さまも17日にご鑑賞されています。今回出展の「真柏」について本人は、「その枝ぶりが空中を飛ぶ天女の姿に似ていることから『羽衣』と命名した。最近、中国や欧米など海外の愛好家が増加しており、年々入選が難しくなっているが連続入選は感無量」と心境を語りました。

今回も日本を含む16ヶ国からの応募があり、約340点が入選したとされ、関係者12名と共に同展に足を運ばれた盆栽歴50年の千葉さんは、新たな刺激を受け、すでに次なる目標を見据えています。



あらたま作品展での展示  
(千葉さん)



特別出品 宮内庁「赤松」  
(皇居の盆栽)



国風盆栽展(東京都美術館)と入選した盆栽「真柏」  
写真提供は千葉喜代一さん



## 大平自治会厚生部(サロンせせらぎ)出前講座 ニュースポーツ体験 2/18

大平自治会のサロンせせらぎ(千葉美保代表)の活動日に合わせて、2月18日奥玉市民センターの職員が出向き、ニュースポーツ体験としてスローイングビンゴやモルック競技を楽しみました。

この日は、大平集落センターに11名が集まり、全員で準備体操を行った後、早速、競技ルールやゲームの進め方を説明し、2チームに分かれて競技を体験。何度か経験のあるお馴染みの競技でもあり、1試合目からビンゴが出る白熱の展開となり2回戦も実施。

その後休憩をはさみモルック競技も初体験。倒したピンの数や数字を積み上げるたびに「一投ごとの緊張とハラハラ感がたまらない」との感想もあり、楽しい体験会となりました。参加者には、持参した自宅学習用の「脳トレ」も出題。和やかな懇談が続いていました。



「スローイングビンゴ」体験会とサロン参加の皆さん

## 「認知症について正しく理解しましょう！」寺花絆クラブで研修会 2/25

寺花絆クラブ(金野盛志代表)による「週一クラブ」が令和5年6月以降毎週水曜日に寺崎前構造改善センターを会場に開かれています。

この取り組みは、高齢者の「介護予防」や「生活支援」などを旨とした「支え合いの地域づくり」の一つとして市の指導を受けながら「いきいき百歳体操」を中心に継続されているもの。

この日は20名ほどが参加。一関東部地域包括支援センター認知症地域支援推進員の小山勝子さんを講師に迎え、「認知症のお話」や「認知症予防のポイント」などについてクイズや脳トレを交えた研修が行われました。

講話の後は、参加者が講師を囲んでコーヒータイム。日常生活での不安や悩み事も話題となり、和やかな雰囲気の中で懇談が行われていました。



「認知症」について学ぶクラブ参加者

## 林ノ沢観音堂の「絵馬」特別展示 せんまや街角資料館 2/1~3/8

林ノ沢観音堂の絵馬1点が3月8日まで、せんまや街角資料館に特別展示されました。絵馬には、「奉納御寶前 天明六年九月十七日 上奥玉村 太郎助」と書かれており、天明6年(1786年)今から240年前に奉納された絵馬と推察されます。

絵馬は、神へ生きた馬を献上する代わりに板に馬の絵を描いて奉納したことに始まるとされます。馬は神の乗り物として神聖視され呪力があるとされ、黒毛馬は降雨を祈り、白毛馬は晴天を祈ったとされます。描かれた馬の首の向きが左向きの絵馬を「左馬(ひだりうま)」と呼び縁起の良い絵馬とされているそうです。

林ノ沢観音堂は、別当家に伝わる縁起によると、延暦21年(802年)に勧請されたことが知られており、この絵馬以外にも貴重な文化財が多数確認されています。



特別展示された林ノ沢観音堂の「奉納絵馬」

## 飛ヶ森キャンプ場 支障木の伐採・枝打ち作業

飛ヶ森キャンプ場では、施設オープンを前に場内のてんぐ巣病に罹った桜の樹木や枯れた雑木など、利用の支障となる危険な状態の樹木の伐採や枝打ち作業が2月末に行われました。

この作業は市の発注事業で、昨年同様、地元の有限会社タカラ住建に作業を委託して行われたもの。今回は、約40本の対象樹木の内20本ほどの枝打ちや伐採、集積作業が行われ、残りは引き続き次年度以降の予算で対応していくこととなりました。



キャンプ場内の枝打ち作業